

## 地域連携シンポジウム その1

# 障がい者の意向をくみ取った 地域の支援活動を考える



(県央福祉会 すぶら)「羊が一匹、夜の探検」安藤 聡美さん  
「水のなかまたち」荒 奈津美さん 「収穫祭」古田 千晶さん

令和2年11月14日(土) 11:00~15:30

県央福祉会  
法人会議室

主催 NPO法人成年後見センター かけはし



## “地域連携シンポジウム その1”

# 障がい者の意向をくみ取った

# 地域の支援活動を考える

2020年11月14日(土)

11:00~15:30 \*10:30 開場\*

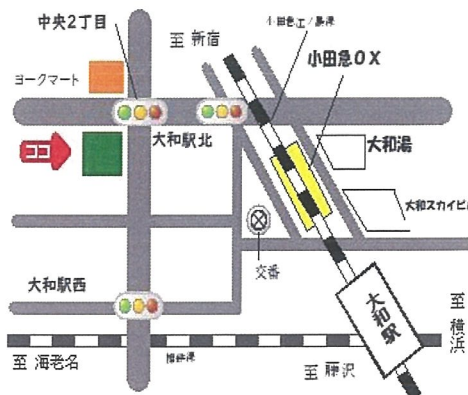
・会場：県央福社会 法人会議室

所在地：神奈川県大和市中心2-3-19 ウエストビルディング4階

アクセス：小田急江ノ島線・相鉄線「大和駅」下車、徒歩3分

・定員：最大15名

・参加費：500円



### 基調講演

## 11:00-12:30 『知的障がい者・発達障がい者支援の8050問題』

～親80歳代、子ども50歳代について～

講師：志賀 利一 (社会福祉法人 横浜やまびこの里 理事/相談支援部長)

### シンポジウム

## 13:30-15:30 『トラブルリスクを抱える障がい者をどう支えるか？』

司会：志賀 利一 (社会福祉法人 横浜やまびこの里 理事)

パネル講師：佐瀬 睦夫 (社会福祉法人 県央福社会 理事長)

パネル講師：明石 洋子 (社会福祉法人 あおぞら共生会 副理事長)

パネル講師：勝田 俊一 (認定NPO法人 地域福祉を考える会 副理事長)

パネル講師：武居 光 (社会福祉法人 十愛療育会  
横浜地域福祉センター港南 生活支援部長)

主催：NPO 法人成年後見センターかけはし

【お申込み・お問い合わせ】 かけはし WAM 助成事業事務局：山賀・大場 (090-2484-5426)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について詳しくはホームページをご覧ください↓↓↓

神奈川県大和市柳橋2-1-26 ウイングシバタ102

<http://www.kakehashi-tomoni.org/>

E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp

TEL:046-244-5551/FAX:046-244-5534

☆お電話・FAX・メールいずれかの方法でお申し込みください。お問い合わせもお気軽にどうぞ。

# 第 I 部

## 基 調 講 演

社会福祉法人 横浜やまびこの里  
理事/相談支援部長 志賀利一 プロフィール

---

志賀 利一（しが としかず）

【プロフィール】

大学を卒業後、民間の発達障害専門の診療所で働く。  
当時は、心理職として乳幼児から学齢時を中心とした発達障害児の療育相談を行っていた。  
その後、障害者の一般就労を目指す施設の運営に携わる。  
さらに、国の外郭団体で、知的障害・発達障害のある人の生活上の課題と支援のあり方について、調査研究を行い、現在は横浜市内において発達障害者支援センター等の管理業務を行っている。

【略歴】

昭和 57 年 埼玉大学教育学部卒  
〃 (財) 神奈川県児童医療福祉財団小児療育相談センター勤務  
平成 7 年 社会福祉法人電機神奈川福祉センター勤務  
平成 22 年 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園勤務  
平成 29 年 社会福祉法人横浜やまびこの里勤務 相談支援事業部長（現職）

# NPO 法人成年後見センターかけはし 地域連携シンポジウムその1 「障がい者の意向をくみ取った地域の支援活動を考える」

## 【基調講演】知的障がい者・発達障がい者支援の 8050 問題 ～親 80 歳代、子ども 50 歳代について～

社会福祉法人 横浜やまびこの里 理事/相談支援部長 志賀 利一

### 1. まえがき

私達の国では、明治時代の篤志家の尽力により、知的障害のある人の教育や福祉がスタートしました。公的な福祉のひとつとして位置づいたのは、1947 年に施行された児童福祉法からです。

知的障害児者の教育や福祉は、長い間、「子ども」あるいは「子どもから大人になる」時期を対象に考えていました。療育手帳という名称はその名残です。

しかし、誰もが歳を重ねると、中高年に到達します。知的障害者も同じです。

21 世紀に入り、高齢になった知的障害者の研究や支援のあり方が全世界的に議論されるようになりました。

私達も「今日できなくても明日できるように頑張る」、いわゆる「子どもから大人」に向けての支援ではなく、「今日できることが明日できなくなるかもしれない」「健やかで・生きがいがある生活」を目指した支援を考えなくてはならないのです。

今日は、中高年の知的障害者の今後の生活のあり方について、私達の国独自の家庭や社会的背景から考察してみたいと思います。

### [参考文献]

1. 稲垣真澄・加賀佳美：知的障害（精神遅滞）. 厚生労働省 e-ヘルスネット 2020  
※2020 年 8 月 4 日確認  
<<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/heart/k-04-004.html>>
2. 厚生労働省：平成 28 年生活のしづらさなどに関する調査（全国在宅障害児・者等実態調査）結果 2018
3. LeDeR(The Learning Disabilities Mortality Review Programme) : Annual Report 2019. Healthcare Quality Improvement Partnership 2020  
※2020 年 8 月 4 日確認  
<<https://www.hqip.org.uk/resource/the-learning-disabilities-mortality-review-programme-annual-report-2019/#.XzTgbej7SF4>>

スライド 1

# 知的障がい者の8050問題

社会福祉法人横浜やまびこの里 志賀 利一



## 具体的な支援の話ではありません・・・



- 療育手帳という名称に代表されるように、知的障害者の福祉は、「子ども」あるいは「子どもから大人になる」対象だと考えられ、発展してきた
- 児童福祉法が施行された1947年に誕生した知的障害児も、もうすぐ後期高齢者になる年齢に。でも、私達は中高年の知的障害者について体系的に考えて来こなかった
- この間、高度経済成長からオイルショック、失われた30年と日本の社会は大きく変化し、障害福祉に対する考え方、そして社会的な障害の定義（認識）も大きく変わってきた
- 最近マスコミでも登場する「8050問題」というキーワードで、中高年になる知的障害者をとりまく環境を考えてみます





## 2018年 夏の事件

### 母・娘を殺害

「障害のある娘の将来悲観」 殺人未遂容疑で72歳母逮捕 46歳長女死亡

長女を殺害しようとしたとして、多摩署は18日、殺人未遂の疑いで、川崎市●●区、無職の母親（72）を逮捕した。逮捕容疑は、16日午後8時ごろ、自宅で同居する無職の長女（46）の頭部を鈍器のようなもので殴ったり、鼻や口を押さえたりして殺害しようとした、としている。長女は死亡した。

署によると、長女には先天性の心臓疾患があった。調べに対し、同容疑者は容疑を認め「自分がいなくなったら障害のある娘はどうなるのか。将来を悲観していた」などと供述しているという。司法解剖の結果、長女の死因は窒息死だった。17日昼に、自宅近くの多摩川河川敷で同容疑者が倒れているのが見つかり、保護した市消防局の隊員に「娘を殺した」などと話したことから発覚した。同容疑者は長女と2人暮らし。

（神奈川新聞）2018年6月19日

## 1972年 秋の事件

十日朝、東京北区で76歳の老人が重度身体障害者で寝たきりの37歳の息子の首をしめて殺し、警察に自首した。苦しい生活中で5人の子どもを育てあげ、生後まもなく脳性マヒになったこの息子をとくにかわいがり、いたわり続けて老父だった。

<中略>

高齢の身で病弱の家族を抱えるという「二重苦」の老人に救いはないだろうか。

横田弘著『炎群』（1973年）の文中より引用：この新聞社説から、著書では「青い芝の会」の立場として、国の施策の問題をつき、優勢思想の問題を問うている。

（朝日新聞）1972年10月10日らしい

## 約50年の間に私たちの国は大きく変化した

1972年	沖縄返還	日中国交正常化	浅間山荘事件		
1973年	第一次オイルショック	福祉元年			
1976年	ロッキード事件	猪木VSアリ			
1978年	第二次オイルショック				
1979年	養護学校義務制				
1985年	プラザ合意				
1987年	国鉄民営化			2000年	介護保険 成年後見
1989年	元号平成 消費税導入			2001年	省庁再編 同時多発テロ
1991年	バブル崩壊			2003年	イラク戦争
1993年	55年体制崩壊			2006年	障害者自立支援法
1995年	阪神大震災 地下鉄サリン事件			2007年	日本の人口減少
1997年	山一証券・北海道拓殖銀行消滅			2008年	リーマンショック
				2009年	民主党政権
				2011年	東日本大震災
				2012年	安倍政権
				2016年	アラブの春 津久井やまゆり園事件
				2018年	TPP
				2019年	元号令和
				2020年	パンデミック

## 昔と今とでは違うと思うが・・・

### 1972年頃 VS 2018年頃

- 大学進学率：男33%・女9% VS 男52%・女58%
- 一人あたりGDP：約86万円 VS 約450万円
- 1973年とは：オイルショック・高度経済成長終焉・福祉元年
- 1972年の歌謡曲：男の子女の子、わたしの彼は左きき、赤い風船  
(中学生だった：フォークブームでロック・ファンは一部)  
(還暦を迎えた：フォークもロックも中高年世代の感傷・・・)

私たちの国は豊かになったはずなのに、年老いた親が将来を悲観して障害のある中年の子を殺める事件が報道される。極稀な世帯固有の個人的な問題として考えて良いものなのだろうか？

### 8050問題ということばが広まった！

- 衝撃的な事件が続いた（2019年初夏）  
川崎市登戸通り魔事件 元農水省次官長男殺害事件
- 内閣府が40歳以上のひきこもりについて全国調査を発表（2019）



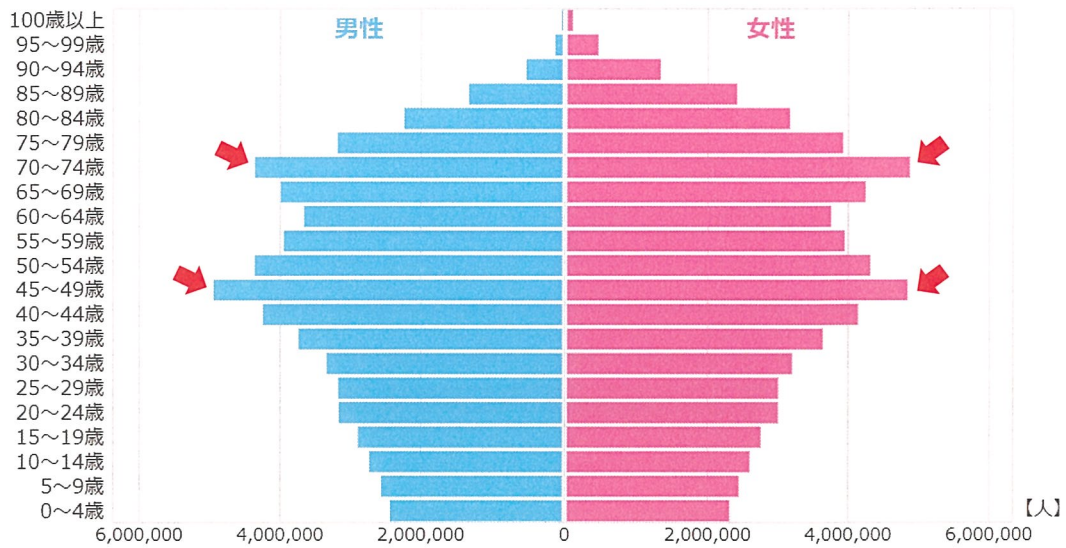






## 社会的背景①：人口ピラミッド

第一次ベビーブーム：1947年から1949年生まれ。2020年には74歳から72歳に（もうすぐ後期高齢者）  
 第二次ベビーブーム：1971年から1974年生まれ。2020年には50歳から47歳に（まさに働き盛りの年齢）

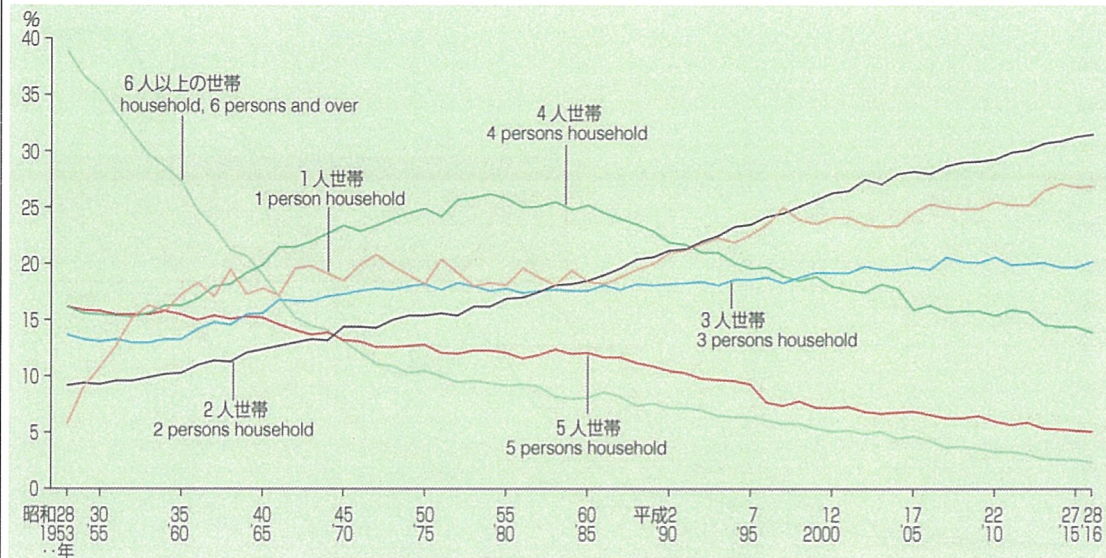


2020年時点の人口ピラミッド（推計）

出典：統計ダッシュボード (<https://dashboard.e-stat.go.jp/>)

## 社会的背景②：世帯数の高止まりと世帯人員の減少

3世代同居だけでなく、核家族世代も1990年以降急激に減少している。お一人様・高齢夫婦世帯が増加



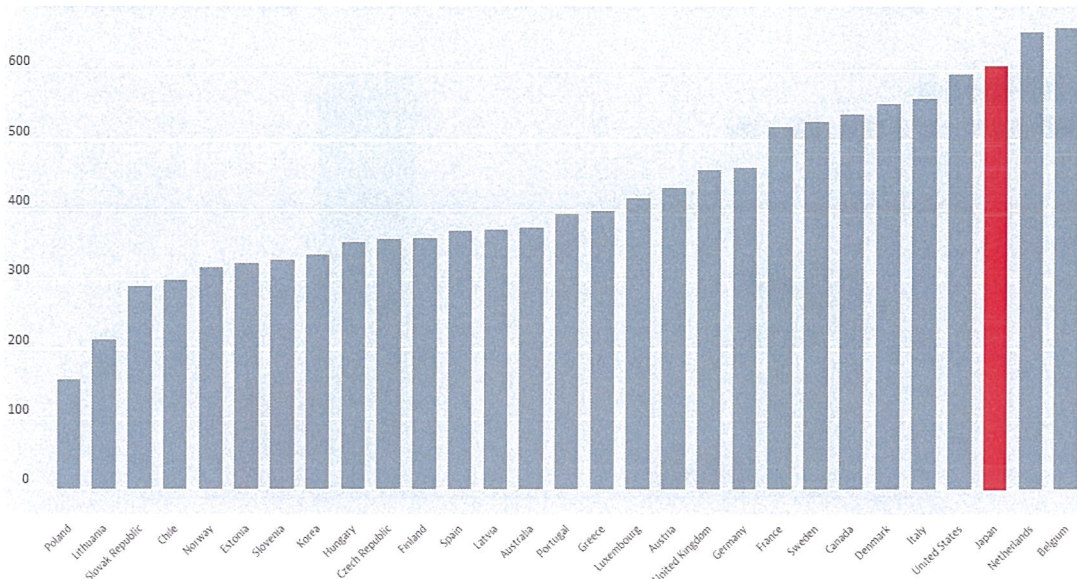
世帯人員数別の世帯数の増減

出典：厚生労働省省察統括官（統計・情報制作担当）  
平成30年グラフでみる世帯の状況 国民生活基礎調査（平成28年）の結果から



## 社会的背景④：それなりの豊かさ

それなりに豊か？ 「天からの回りもの」のお金は、政府がたくさん発行しても使い道なく停滞している？



一世帯あたりの純資産国別ランキング（米ドル表示）  
円が高いときのデータだが、2018年に4位としている頁もある

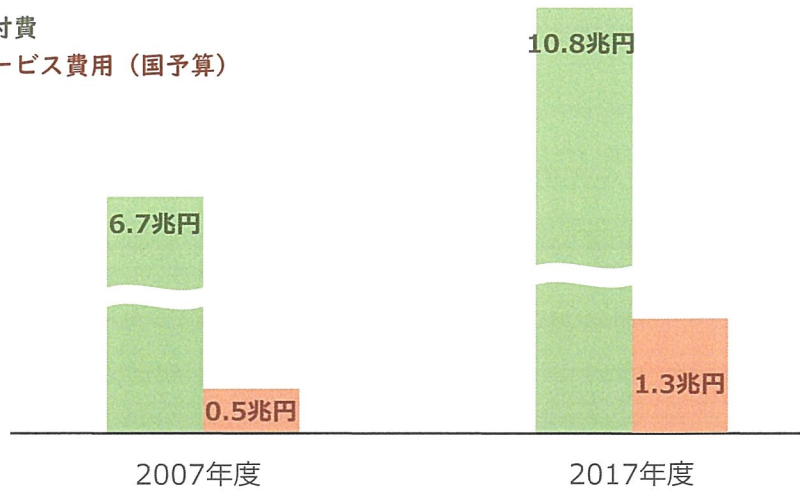
出典：OECD Data (2014)

## 社会的背景⑤：拡大する社会福祉

家族に依存しすぎた福祉の反省 + 規制緩和による多様な福祉の担い手に拡大 = 自助共助公助の境界が曖昧

介護保険給付費

障害福祉サービス費用（国予算）



介護保険給付・障害福祉サービス費用（国）の伸び

厚生労働省・総務省データから作成





## リスク 1 : 早期の心身の機能低下 ?

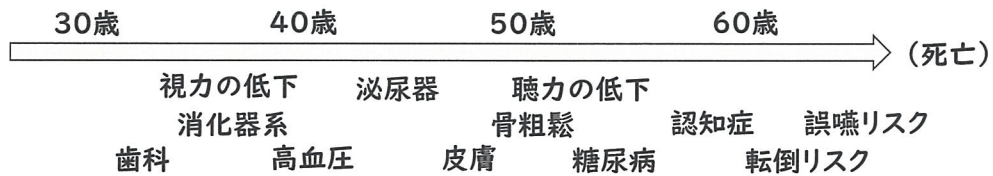
### 英国の衝撃的な調査報告書

『イングランドで2019年に亡くなった知的障害児者3,060人の年齢の中央値は、男性61歳、女性59歳。この死亡年齢は、イングランドの国民平均と比べると男性が22歳、女性が27歳若い』

The Learning Disabilities Mortality Review Programme (LeDeR)  
Annual Report 2019

平均寿命を計算したものではない。長生きする知的障害者は2019年には亡くなっていない・・・しかし、大規模の死亡事例調査はこれまで存在しなかった。  
また、この報告では、人種的に死亡年齢が最も高い「white British」の最重度・重度知的障害者の中央値は57歳、中度・軽度知的障害者の中央値は64歳と報告されている。

### 心身の機能低下が「早い」という可能性は考えておくべきでは？



(個人差が大きい問題であるがゆえに、十分な調査が実施されていない)

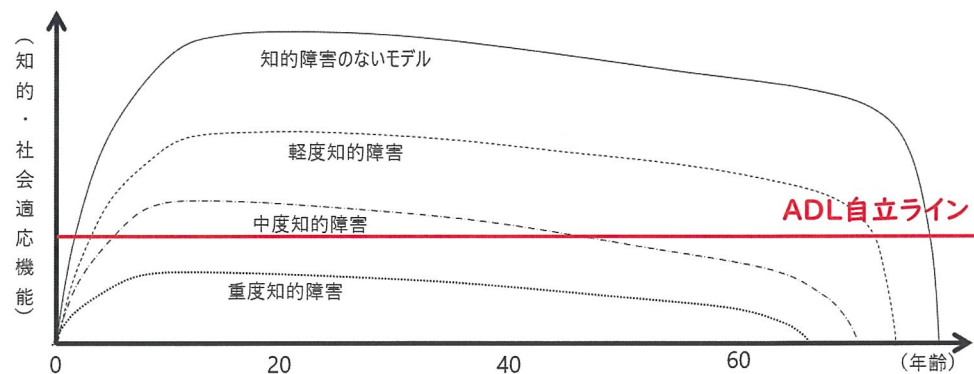


## リスク2：わずかな機能低下で生活・支援が変わる

### わずかな心身の機能低下でも、日常生活・社会生活に大きく影響

適応行動等の発達が限定されている重度の知的障害者にとって、心身機能のわずかな低下は、食事・睡眠・排泄等の基本的な日常活動支援の大きな見直しを必要とする可能性が高くなる。また、就業している中軽度知的障害者にとっても、通常の65歳定年よりかなり早い段階で、就業先や住まいの見直し等、社会生活の大きな見直しが必要になる事例が少なくない。

たとえば、仮に下の図の赤い線を『ADL（日常生活動作）自立ライン』とすれば、知的障害のない人は、人生の終末に近い時点での大きな低下がそのラインを下回るが、中度の知的障害者にとっては緩やかな機能低下の中年期にすでにラインを下回ってしまう。



## リスク3：身体的疾患等とその発見が難しい

### 傷病の疑い・気づき

- わずかな身体的な不調（例：痛み）を自ら気づくことができるか？
- 周囲がわずかな身体的な不調を気づけるだろうか？
- 周囲は「年齢」「生活習慣」「表情」等から病気とは思わないのでは？

### 内科等の受診

- 例えば、内科医は多くの疾病等の診断を下す際に問診情報が非常に大切だという。微妙な身体的な不調や変化を伝えることができるだろうか？
- 本人でなければ、誰が伝えるのだろうか？

### 診断・治療

- 様々な検査（その前からの準備）が実施できるか？
- 本人はどうして検査・治療を受けなければいけないか理解できるだろうか？
- 自宅での静養や継続的な服薬管理は誰が？
- 精神科等の薬との相性は？

知的障害のある人の多くは「（微妙な身体的変化）気づき」「（医師が必要とする）情報伝達」「（治療の対する）意味理解」が難しいのではないだろうか？ また、周囲は、初期症状を正確に本人に変わって察知することは、さらに難しい。

予防的な生活習慣  
(適度で継続的な運動)

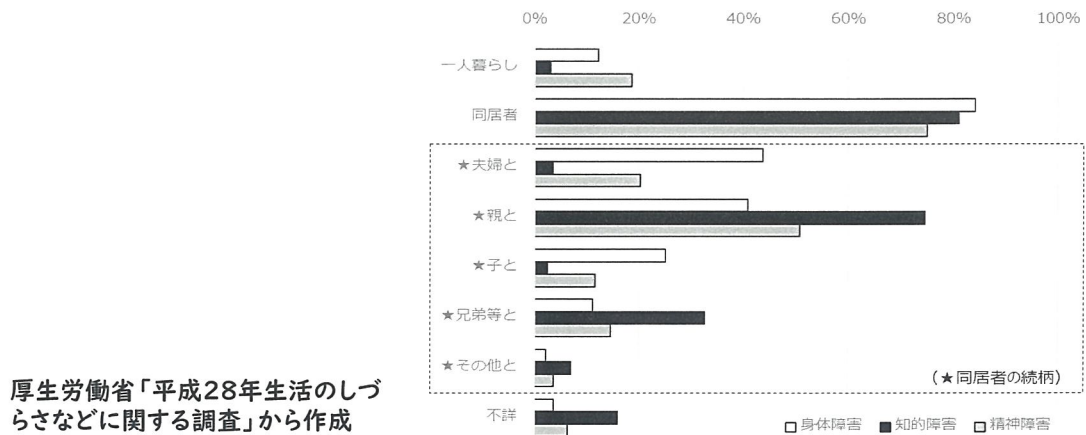
定期的な健康診断

- 一般の成人男性40歳代（メタボ世代）の肥満率34%。ある調査では20歳代の知的障害者の肥満率が34.4%になっている！ 生活習慣病予防は、20歳から真剣に考えるべき課題
- また、自閉症児者親の会の強力で、2つの地域の親同居世帯の成人の定期健康診断の受診状況を調査したところ、8%~22%は健康診断を受けていない。理由は「子どもの頃からてんかん等で各種検査を行っているため」、「病院が怖い、本人が行きたがらない」、「職場や学校のように定期検診の機会がない」、「病気が見つかる不安」



## (前提①) 大きな社会状況から

- 公助より共助が優先する社会保障制度の原則のもと、**障害者が65歳**（特定疾患では40歳）に達すると、障害福祉サービスに相当する介護保険サービスがある場合は、**介護保険の給付を優先して受けることになる**（障害者総合支援法第7条）
- 障害者自立支援法施行と同時に、福祉施策の具体的な数値目標が設定され、その1番目は「**福祉施設入所者の地域生活への移行**」であった。実際、2005年10月施設入所者数145,919人 → 2020年3月施設入所者数127,916人（12.3%減）
- 若年期に親や兄弟と同居していた知的障害者は、中年期・高齢期に達し、**同居していた親が亡くなると、単身世帯となるリスクが高い**。また、単身になる前に、**介護を必要とする高齢者と障害者の世帯**になる可能性がある（下の図参照）







<p><b>Q1</b> ご本人の年齢を選んでください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 18歳未満</li> <li>2. 18歳～29歳</li> <li>3. 30歳～39歳</li> <li>4. 40歳～49歳</li> <li>5. 50歳～59歳</li> <li>6. 60歳～64歳</li> <li>7. 65歳以上</li> <li>8. わからない</li> </ol>	<p><b>Q6</b> ご本人にとっての主たる養護者は、問5以外に、病弱等、心身に問題がありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> <li>3. 主たる養護者がいない</li> <li>4. わからない</li> </ol>
<p><b>Q2</b> ご本人の現在の健康状態はいかがですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. よい</li> <li>2. まあよい</li> <li>3. 普通</li> <li>4. あまりよくない</li> <li>5. よくない</li> <li>6. わからない</li> </ol>	<p><b>Q7</b> ご本人には、趣味やスポーツ、友人との付き合い（会う、手紙や電話のやり取りをする等）がどの程度ありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. している</li> <li>2. ときどきしている</li> <li>3. あまりしない</li> <li>4. していない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
<p><b>Q3</b> ご本人は現在、何らかの<u>障害福祉サービス</u><sup>※1</sup>や<u>療育・教育機関</u>を利用していますか。 例：日中活動、ヘルパー、ショートステイ、相談支援、権利擁護等。幼児学齢期は学校等や療育機関を含む</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい（利用している）</li> <li>2. いいえ（利用していない）</li> <li>3. わからない</li> </ol>	<p><b>Q8</b> 世帯としての近所づきあい（町内会等の地域活動を含む）はどの程度ありますか。<sup>※2</sup></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 親しくつきあっている</li> <li>2. 立ち話をする程度</li> <li>3. あいざつをする程度</li> <li>4. つきあいはほとんどない</li> <li>5. わからない</li> </ol>
<p><b>Q4</b> 世帯の構成人数は何人ですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1人（ご本人の一人暮らし）</li> <li>2. 2人（ご本人+家族等1人）</li> <li>3. 3人以上（ご本人+家族等2人以上）</li> <li>4. わからない</li> </ol>	<p><b>Q9</b> 世帯の経済状態（現在の暮らし向き）はいかがですか。<sup>※3</sup></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大変ゆとりがある</li> <li>2. ややゆとりがある</li> <li>3. 普通</li> <li>4. やや苦しい</li> <li>5. 大変苦しい</li> <li>6. わからない</li> </ol>
<p><b>Q5</b> ご本人にとっての<u>主たる養護者</u><sup>※4</sup>は、要介護認定、または障害支援区分認定を受け、要介護・要支援状態にありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はい</li> <li>2. いいえ</li> <li>3. 主たる養護者がいない</li> <li>4. わからない</li> </ol>	<p><b>Q10</b> ご本人と同居する家族には、困ったときの相談先や、病気の時・一人ではできない家の回りの仕事の手伝いなどについて頼れる人がありますか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 同居家族には相談先がある</li> <li>2. 同居家族には相談先がない</li> <li>3. 本人と同居する家族はいない</li> <li>4. わからない</li> </ol>

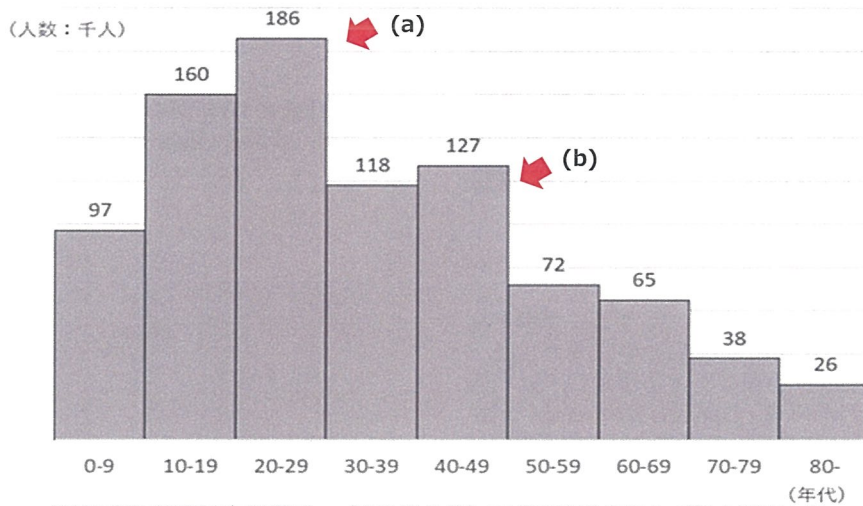
(判定)	(得点)
リスクは認められず	5 1点以下
一定のリスクあり	5 2～6 2点
リスクは高い	6 3～6 8点
リスクは極めて高い	6 9点以上

出典：全日本手をつなぐ育成会  
障害のある人のいる世帯のハイリスク状態を確認するチェックリスト（2014）

## 問題①：潜在的な知的障害者の存在

療育手帳は、1973年の厚生労働事務次官通知による「療育手帳制度要綱」に則り運用されており、中高年の知的障害者の多くは、幼児期・学齢期に手帳の存在を知らない。療育手帳交付が増えているきっかけは、(a)養護学校義務制(1979年:第二次ベビーブーマー)、(b)特別支援教育(2007年:キャリア教育・障害者雇用)が影響していると推測される。

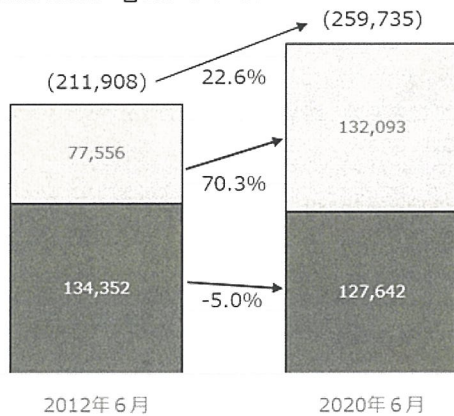
50歳以上の人の中には、知的障害者相応の認知能力ではあるが、障害認定を受けていない人(潜在的な知的障害者)がかなり存在するものと推測できる。





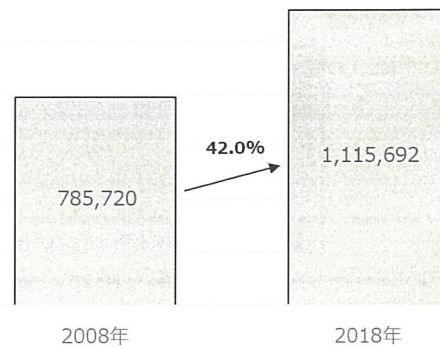
## 問題②：住まいの場の保障

■施設入所支援 □グループホーム



【左図】過去10年間の障害福祉サービスにおける住まいの利用者数の推移(厚労省:国保連データから)・・・知的障害だけではない

【下図】過去10年間の療育手帳の交付状況の推移(厚労省:福祉行政例データから)



障害福祉サービスの住まいは、グループホームが増加で、拡大傾向である。しかし、それ以上のペースで療育手帳の交付が増えている。「潜在的な知的障害者」の問題も含め、住まい(住宅政策だけではない)の場は今後も大きな課題である。

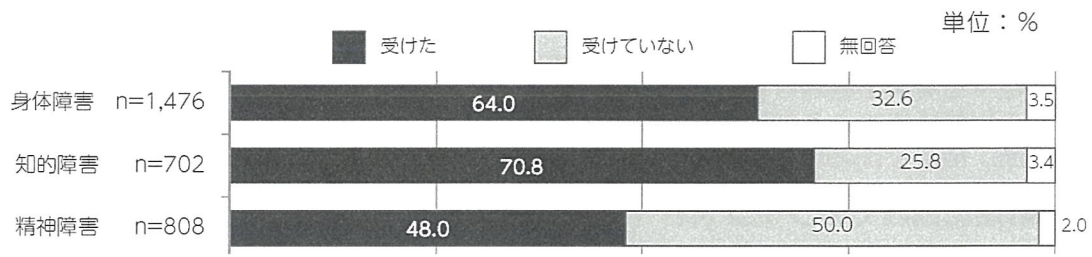
### 問題③：定期健康診断の実施と継続的サポート

第4次かわさきノーマライゼーションプランのアンケート調査より（2017年2月調査）

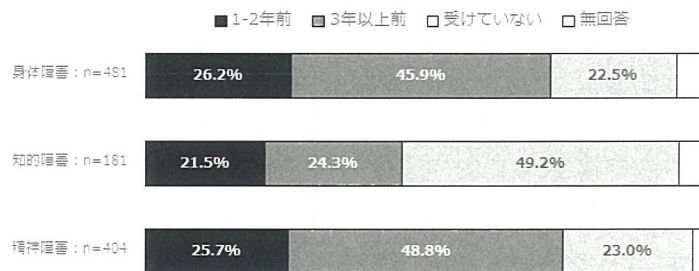
アンケート回答者が本人である割合：身体障害68.1%、知的障害25.5%、精神障害77.2%

回答者の年代でもっとも多いのは：身体障害50歳代、知的障害20歳代、精神障害40歳代

回答者のうち企業等で働いている：身体障害21.7%、知的障害18.1%、精神障害15.8%



直近で健康診断を受けたのは？





# 第2部

## パネルディスカッション

## 「障がい者の意向をくみ取った地域の支援活動を考える」

### パネルディスカッションの趣旨説明

我が国では、平成 16 年(2004 年)12 月に議員立法により「発達障害者支援法」が成立し、自閉症、アスペルガー症候群などの広汎性発達障害児・者に対して、さらに家族に対してもきめ細やかな支援がより身近な場所で受けられるよう整備がなされてきました。

しかし、発達障害者支援センター、生活支援事業施設、グループホーム、地域包括支援センター等は整備されてきましたが、まだまだ厳しい社会環境のなかで、知的障がい者・発達障がい者本人は、自分の意思を相手に伝える難しさ、偏りの話し方、自分たちのリスクを抱えて生活しており、今後も地域社会の深い理解がさらに求められています。

神奈川県内には、136 団体の社会福祉法人、多数の NPO 法人うち成年後見を受任している 7 団体が存在します。

今回、神奈川県内で障がい者支援活動を活発に実施している 4 法人をお招きし、具体的な障がい者支援活動を紹介して頂き、『トラブルリスクを抱える障がい者をどう支えるか?』を軸にパネルディスカッションを行います。情報交換や課題を整理することで、本パネルディスカッションが、社会福祉法人・NPO 法人等における「障がい者支援方法の質的向上」の強化になることを期待しております。

NPO 法人成年後見センターかけはし

代表理事 小川 肇

社会福祉法人県央福祉会  
理事長 佐瀬睦夫 プロフィール

---

佐瀬 睦夫 (させ むつお)

社会福祉法人県央福祉会 理事長

社会福祉主事任用資格／社会福祉施設長資格

経歴

1969年 3月	駒澤大学法学部卒業
1969年 4月～10月	子どもの生活研究所
1970年 3月	日本社会事業学校専修科卒業
1970年 4月～1976年 3月	社会福祉法人唐池学園勤務
1975年 7月～1983年 3月	財団法人県央療育センター子どもの生活相談室所長
1983年 4月～1991年 3月	社会福祉法人県央福祉会 ふきのとう舎施設長
1991年 4月～1994年 6月	社会福祉法人県央福祉会 ふきのとう向生舎施設長
1994年 7月～1996年 3月	社会福祉法人かながわ共同会 厚木精華園施設長
1996年 4月～2006年 8月	社会福祉法人県央福祉会 ふきのとう舎施設長
2006年 9月～2011年 3月	社会福祉法人県央福祉会 横浜市中山みどり園所長
2011年 4月～2012年 3月	社会福祉法人県央福祉会 ふきのとう舎施設長
2012年 4月～現在	社会福祉法人県央福祉会 ふきのとう舎・ ふきのとう向生舎統括施設長

その他 社会福祉関係活動歴

1979年 8月～1990年 12月	財団法人県央療育センター理事
1983年 1月～2011年 4月	社会福祉法人県央福祉会常務理事
1978年 8月～2018年 6月	社会福祉法人唐池学園監事
1992年 10月～1994年 10月	社会福祉法人星谷会理事
1994年 11月～現在	社会福祉法人星谷会監事
2002年 3月～2017年 6月	社会福祉法人くるみ会理事・評議員
2011年 5月～現在	社会福祉法人県央福祉会理事長
2012年 5月～2016年 8月	社会福祉法人アルタイル理事・評議員
2016年 8月～2017年 6月	社会福祉法人アルタイル理事長
2017年 6月～現在	社会福祉法人ル・プリ理事
2019年 3月～現在	社会福祉法人かむ理事

# 社会福祉法人あおぞら共生会

## 副理事長 明石洋子 プロフィール

### 明石 洋子（あかし ようこ）

昭和 21 年生まれ 九州大学薬学部薬学科卒 薬剤師・社会福祉士

#### 経歴

知的障害を持つ自閉症の長男の成長に合わせて、地域訓練会（親の自主訓練会）・保育園・義務教育（普通級）・高校進学へ、そして放課後は学童保育・学齢児活動、更に「アイススケート日曜学級」「夏休み水泳教室」等余暇活動を企画運営して、同年齢児や地域の人々と少しでも多く接する場と機会をつくった。

働く場も地域で、さらに親亡き後も「地域で暮す」を実現するために現在も活動する。平成元年無認可小規模作業所「あおぞらハウス」を設立してから、グループホーム、サポートセンター、相談支援等の事業を設立、現在「社会福祉法人あおぞら共生会」として、13事業所を運営。

さらに、リスクの多い地域で親亡き後も暮すには、人権擁護が必須と、平成 21 年 4 月「NPOかわさき障がい者権利擁護センター」を共同で設立。

理事長そして現在副理事長として成年後見、虐待防止等権利擁護活動中。

#### 現在

社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長

一般社団法人川崎市自閉症協会 代表理事（川崎市自閉症児者親の会 会長）

NPOかわさき障がい者権利擁護センター 副理事長（元理事長）

（社福）ともかわさき 評議員、（社福）川崎市社会福祉協議会 評議員、

川崎市障害者施策審議会委員、川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議委員、

川崎市障害者社会参加推進協議会委員等々

日本成年後見学会会員

#### 書籍・論文

「ありのままの子育て」「自立への子育て」「お仕事ががんばります」（ぶどう社）発行  
（韓国 及び中国で翻訳版出版）

平成 29 年 10 月「思いを育てる、自立を助ける」（本の種出版）発行

令和 2 年「地域に生きて」（ぶどう社）を明石邦彦と共著で発行

薬剤師の職能を生かして、「からだ！！げんき！？」（全日本育成会）

全日本育成会の情報誌「手をつなぐ」の編集委員（4年間）として原稿多数掲載

その他、発達障害者支援法ガイドブック（河出書房新書発行）、

自閉症ガイドブック（日本自閉症協会発行）、

「障がいのある人の意思決定支援」（現代人文社）等共著での著書も多数

保育学会誌や「小児科臨床」「実践成年後見」「臨床心理学」「実践障害児教育」

「アスペハート」等に論文多数掲載

認定 NPO 法人地域福祉を考える会  
副理事長 勝田俊一 プロフィール

---

勝田 俊一 (かつた しゅんいち)

認定 NPO 法人地域福祉を考える会 副理事長・成年後見部会長

経歴

- 1982 年 社会福祉法人進和学園
- 2013 年 伊勢原市障害福祉課
- 2014 年 社会福祉法人さくらの家福祉農園

現在

- 社会福祉法人さくらの家福祉農園理事
- 伊勢原市北地区民生委員児童委員
- 伊勢原市成年後見・権利擁護推進委員会委員

書籍・論文

- 知的障害・発達障害の人たちのためのビジネスマナー集 漫画版 企画・共著
- 知的障害・発達障害の人たちのための見てわかる意思決定と意思決定支援 企画・共著



社会福祉法人十愛療育会 横浜地域福祉センター港南  
生活支援部長 武居光 プロフィール

---

武居 光 (たけい こう)

社会福祉法人十愛療育会 横浜地域福祉センター港南 生活支援部長  
精神保健福祉士

経歴

- 1958年 生まれ
- 1981年 神奈川県社会福祉協議会
- 1992年 神奈川県児童医療福祉財団小児療育相談センター
- 2008年 川崎市発達相談支援センター
- 2010年 川崎西部地域療育センター
- 2013年 社会福祉法人十愛療育会

小児療育のCW時代に県央やまびこの夏のキャンプに通算12回参加してきました。  
ロールとして子どもたちの成長に喜んでいきます。

# 配布資料

### 1. ヒューマンライツアクト 人権法 1995

＝支援者が守らなければならない法律

- ①他人から傷つけられたり、ひどい扱いをされてはならない権利
- ②家族と暮らす権利
- ③家族と会ったり、手紙を書いたり話することができる権利
- ④あなた自身でいる権利
- ⑤あなた自身のことは、あなたが決める権利

### 2. メンタルキャパシティアクト 自己決定法 2005

＝あなた自身が決めるためのサポートや環境

- ①「わかりやすい情報」を手に入れて、だれかがわかりやすくして説明します。
- ②あなたが自分で決めることを、いつも周りの人たちがサポートします。
- ③もし決定が難しすぎる時は、あなたにとって最良の判断がされるようにします。
- ④「最良の判断」とはあなたにとって「いちばんいい決定」のことです。
- ⑤あなたにとって「最良の判断をする人」は、あなたの意見を聞かなくてはなりません。また、あなたの家族やあなたの支援者の声もきかなくてはなりません。
- ⑥もしその決定があなたやあなたの家族にとってハッピーでなければ、あなたは別の方法を選ぶことができます。

### 3. アドボカシーの定義

#### ①知的障害者団体メンキャップの定義

Advocacy is when someone supports you to speak up and say what you want.

アドボカシーとは、だれかがあなたが自分のほしいものを自分でいうことや、あなたが発言することを支援することをいいます

We can help you to speak up about the things that are important to you.  
わたしたちは、あなたにとって大切なことを、あなたが自分で発言することを助けることができます

We can help you to know about your rights.

わたしたちはあなたが自分の権利について知ることを助けることができます

We can speak up for you if you find it hard to say what you think and feel

わたしたちはあなたが感じていることや考えていることを、自分でいうことがむずかしいときにあなたのかわりに発言することができます

## ②精神障害者団体マインドの定義

What does an advocate do? アドボケイトは何をしますか？

The role of an advocate depends on your situation and the support you want. But they are there to support your choices.

代弁者の役割は、あなたがおかれている状況によって異なります。あなたが求めることをサポートします。アドボケイトはあなたの選択を支援するためにいます

An advocate can:(アドボケイトができること)

listen to your views and concerns

あなたのものの見方や関心事に耳を傾けます

help you explore your options and rights without pressuring you  
プレッシャーをかけないで、あなたの選択肢と権利を見つけるのを助けます。

provide information to help you make informed decisions

あなたが情報を得て決定するための情報提供をします

help you contact relevant people, or contact them on your behalf  
あなたが関係者と連絡するのを助けたり、あなたの代わりに連絡をとります

accompany you and support you in meetings or appointments.  
あなたにつきそい、ミーティングや面会をサポートします

An advocate will not:(代弁者が絶対にしないこと)

give you their personal opinion

個人的な意見をあなたに与えること

solve problems and make decisions for you

あなたに代わって問題を解決したり、決定を下すこと

make judgements about you.

あなたについて判断を下すこと

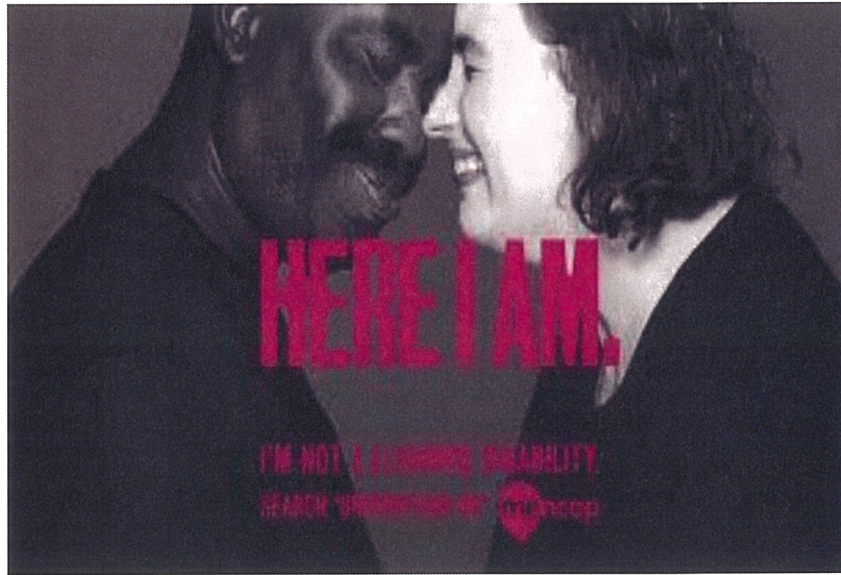
# イギリスで アドボカシーセンスを磨く

2020. 11

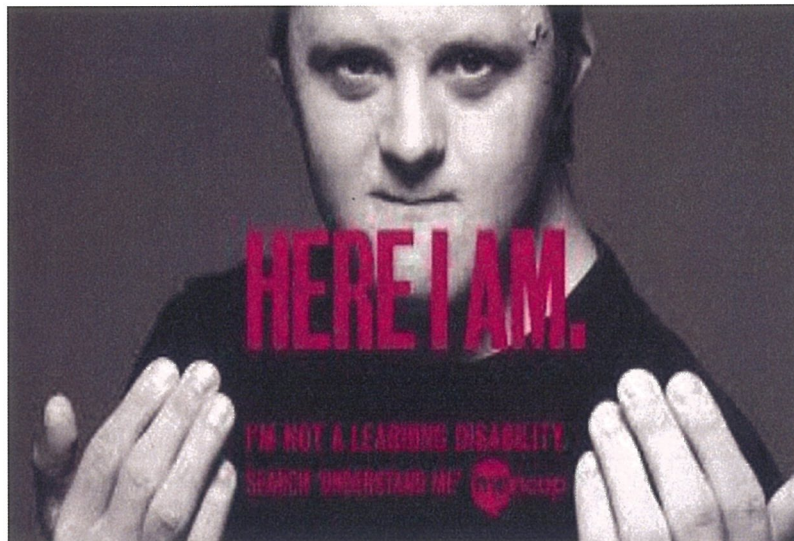
武居光



わたしは、知的障害ではない




僕は知的障害でない



## 知的障害についての偏見

- 受け入れられない
- それは間違い
- 私たちの声を聴いて



**ABOUT ME**

So you're here to learn about learning disability? Hopefully I can help. My name's Aeren. I love reading and acting. I went to mainstream school, got all my GCSE's and then did a BTEC in Performing Arts. Let's chat!

**me:cap**  
The national charity for people with learning disabilities

Watch the video  
Legal Bits  
About  
Me:cap

## HERE I AM, UNDERSTAND ME



Or might ask, but at times when you should probably be focussing on something else... Ready?

Um ok

Um ok... so... can you guys have sex?

Well, I'm from a Catholic family... so... you know

But of course, you can definitely have sex if you have a learning disability!  
As long as you trust the person and you're not in a vulnerable situation - like anyone else.

What's your love life like?

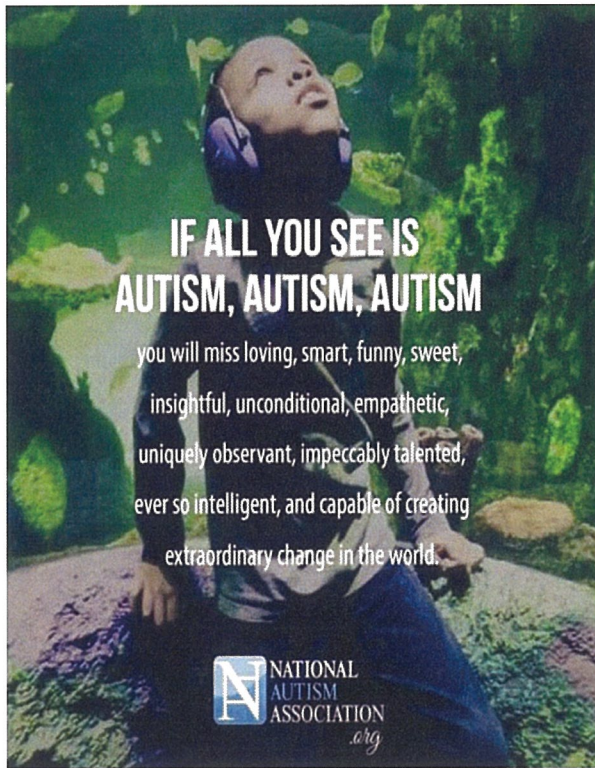




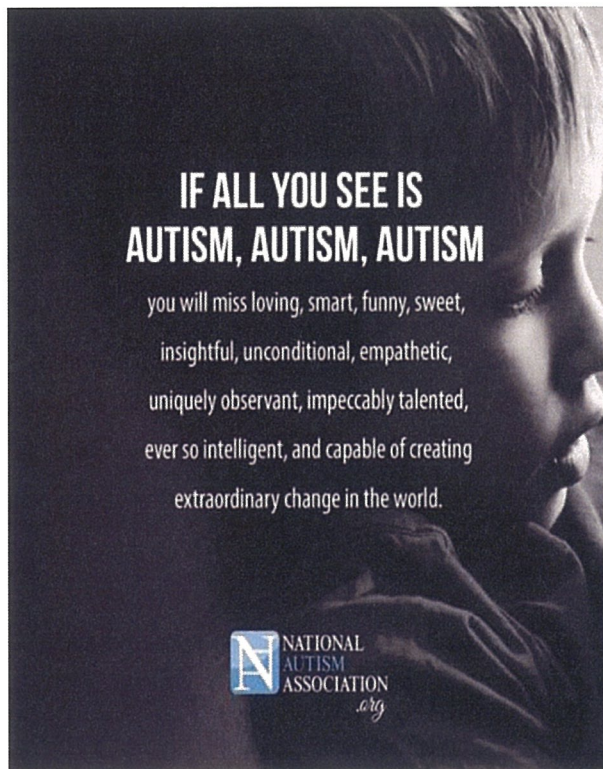
- <https://www.mencap.org.uk/understandme/>

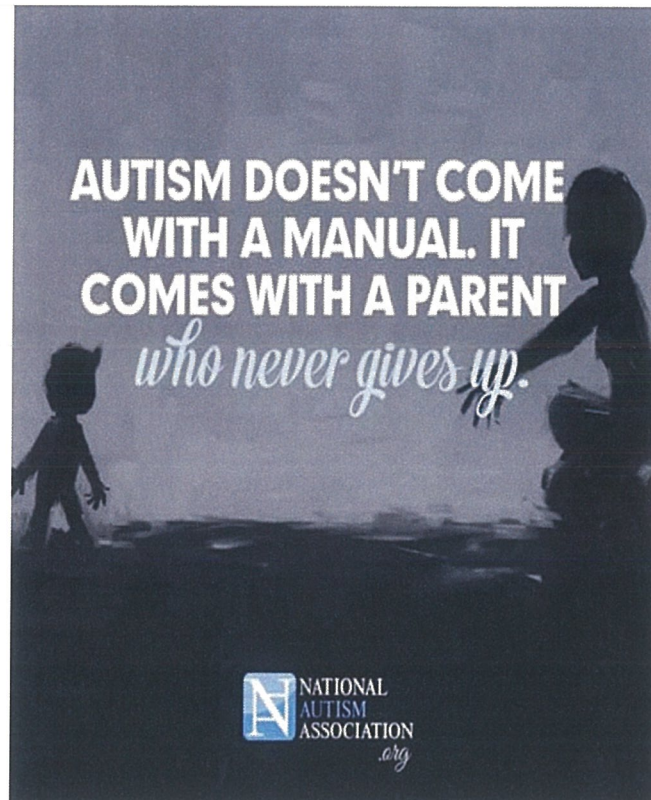
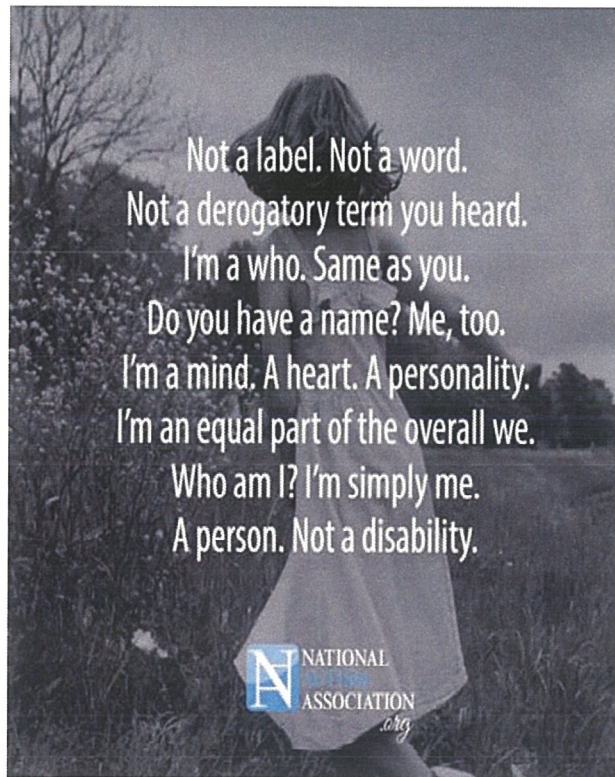
## Treat me well


- <https://www.youtube.com/watch?v=yIjz8Z8GE0>
- <https://www.youtube.com/watch?v=KF-JY1KL6m4>




Loving: 愛らしく  
Smart: 賢く  
Funny: 面白く  
Sweet: 優しく  
Insightful: 洞察力ある  
Unconditional: 無条件に  
Empathetic: 共感できる  
Uniquely observant: 観察力の鋭い  
Imperccably talented: 完璧な才能の  
Ever so intelligent: とても知性的で  
Capable of creating extraordinary  
change in the world:  
並外れた変革を生む才能









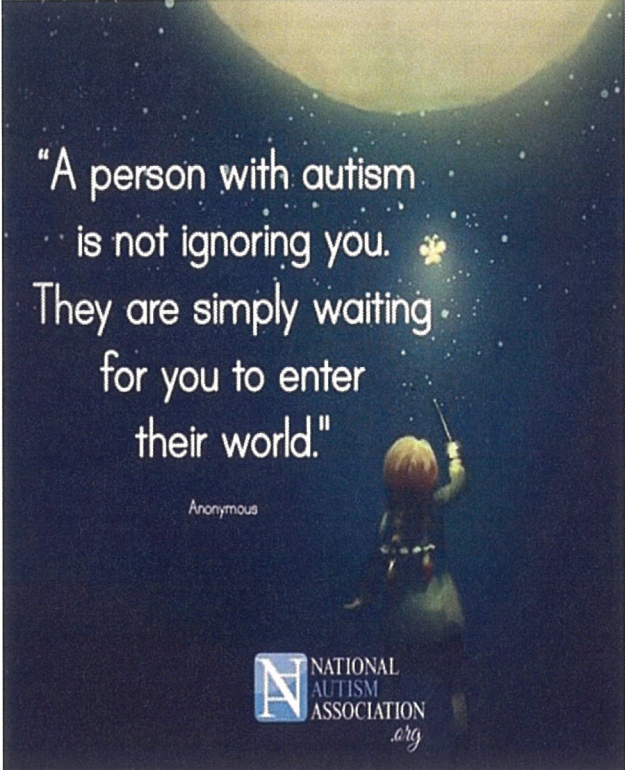
**AUTISM SAFETY TIP:**  
*know where to search*



- ✓ If a child with autism is missing, immediately search areas that pose the highest threat first, such as nearby water, busy streets and train tracks
- ✓ Even if a child with autism has previously demonstrated a fear or dislike of water, they may perceive lakes and ponds differently




NATIONAL  
AUTISM  
ASSOCIATION  
*.org*

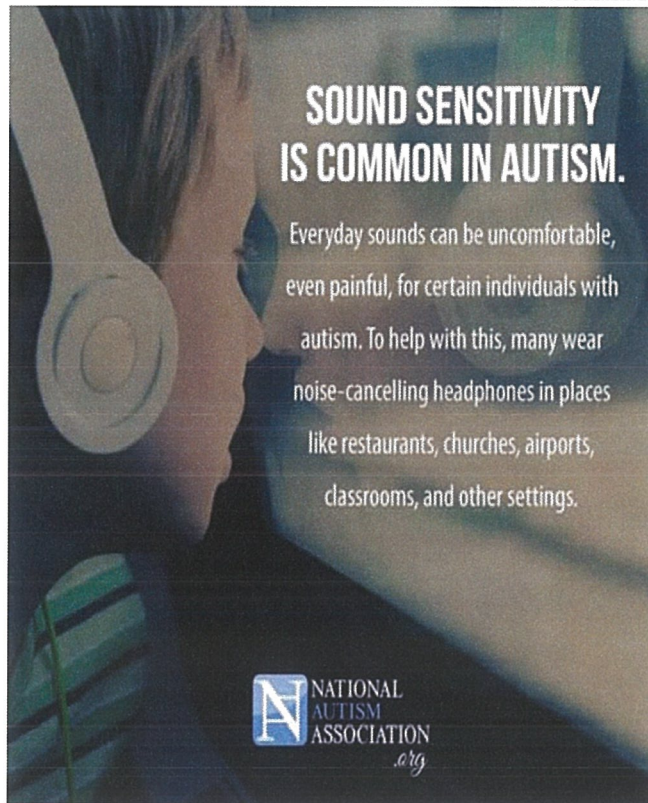


"A person with autism  
is not ignoring you. ✨  
They are simply waiting  
for you to enter  
their world."

Anonymous




NATIONAL  
AUTISM  
ASSOCIATION  
*.org*



**SOUND SENSITIVITY  
IS COMMON IN AUTISM.**

Everyday sounds can be uncomfortable, even painful, for certain individuals with autism. To help with this, many wear noise-cancelling headphones in places like restaurants, churches, airports, classrooms, and other settings.

 NATIONAL  
AUTISM  
ASSOCIATION  
*.org*

I Love  
A sweet soul with Autism  
To THE MOON AND BACK



 NATIONAL  
AUTISM  
ASSOCIATION  
*.org*

Even If a Person With   
Autism Cannot Speak or Respond,  
*they still hear your words and feel your  
attitude. So be kind, compassionate and  
uplifting...always.*

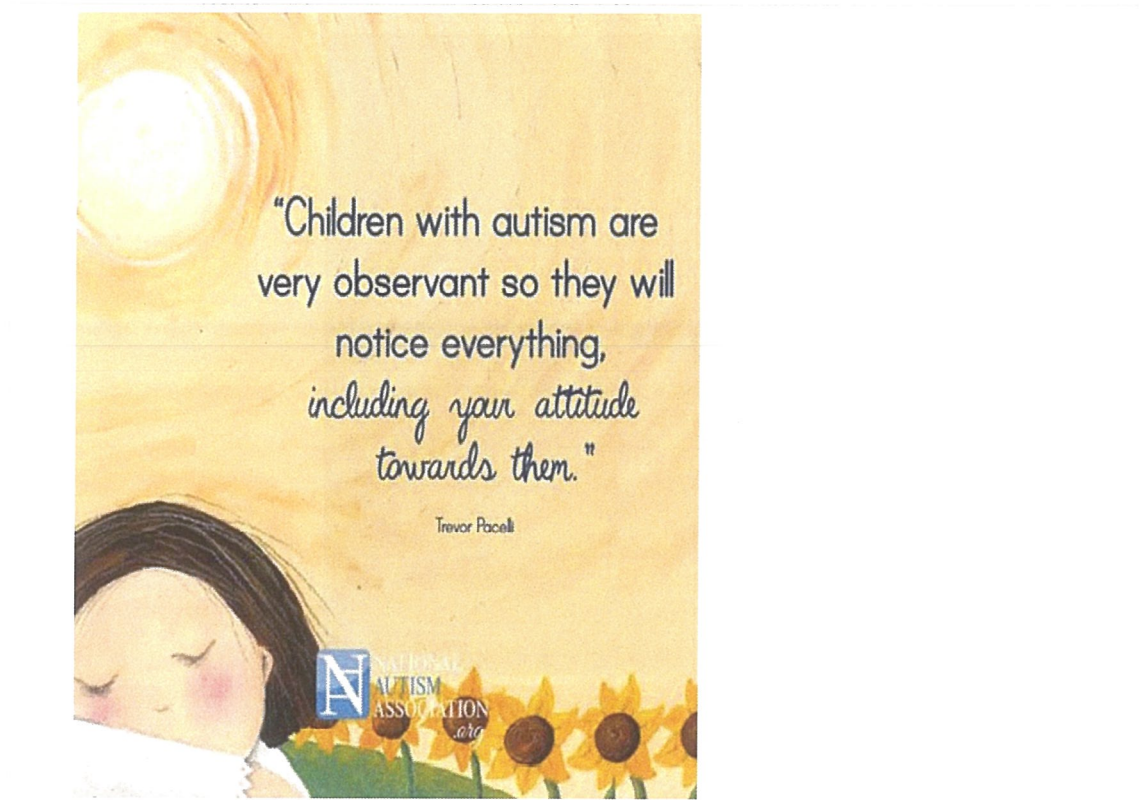
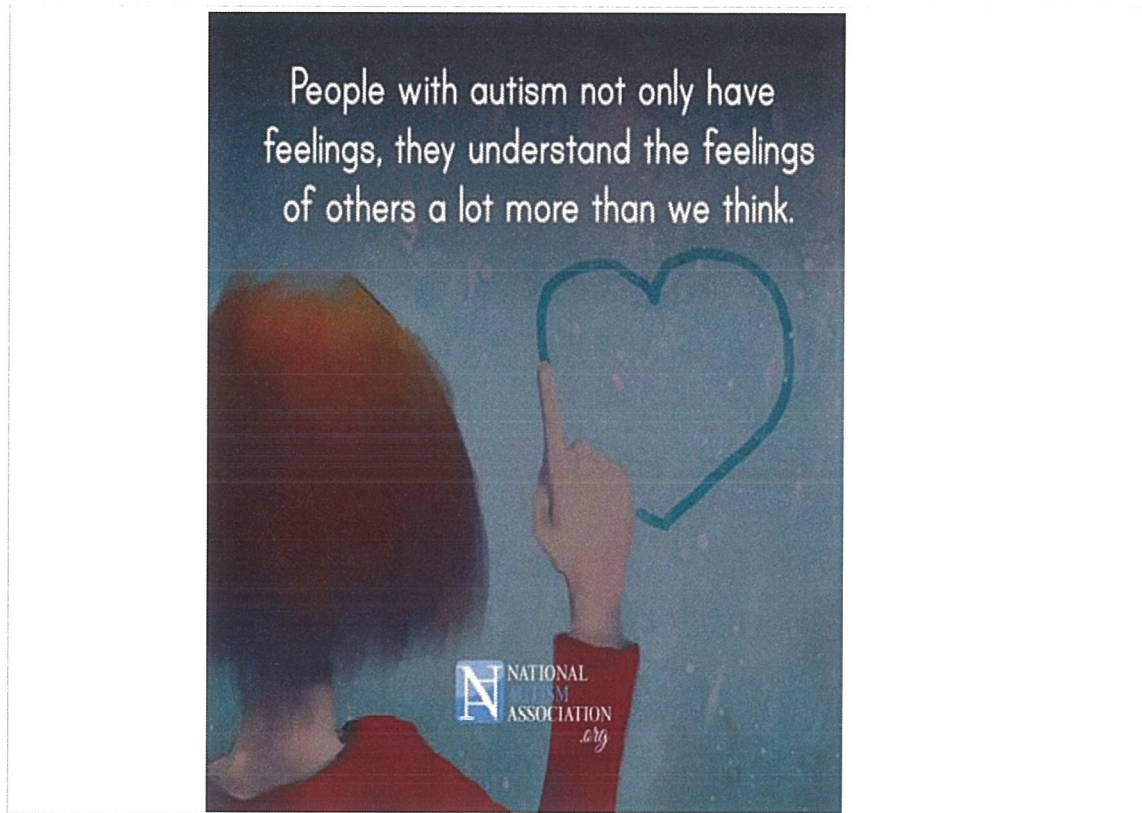


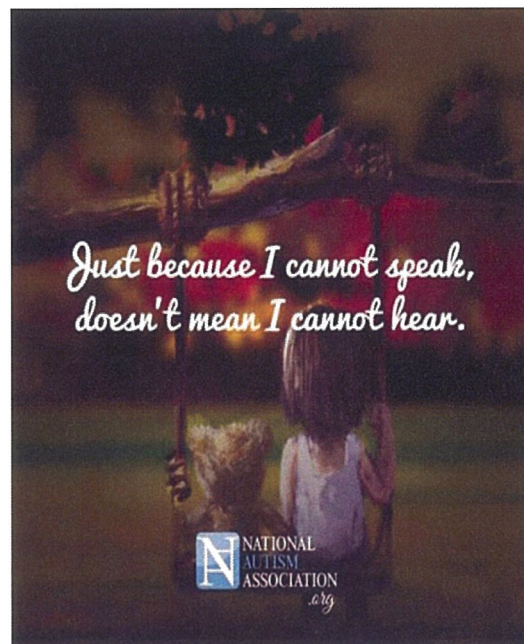
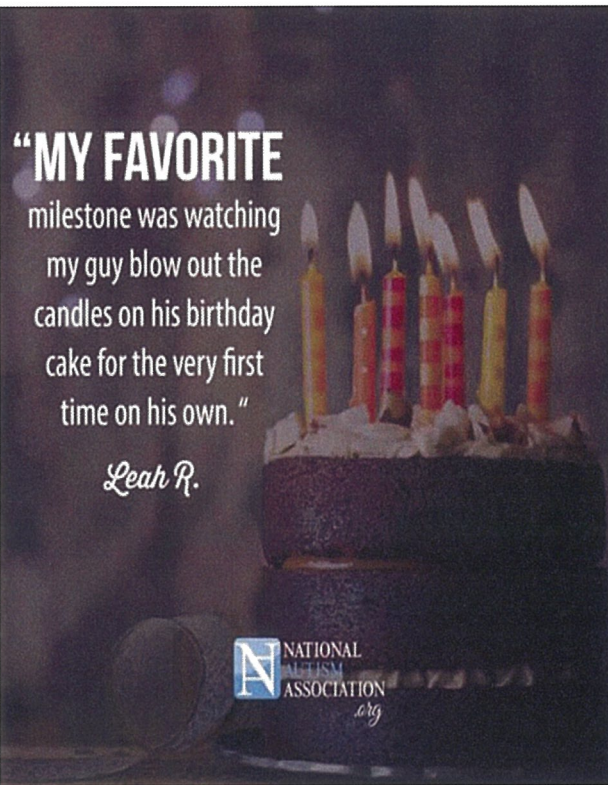
## **“MY SON IS FIVE.**

I remember putting him to bed night after night and I always told him ‘I love you’ before I left his room. I always prayed for the day he would say it back. One night I was doing the same routine for bedtime and told him I loved him. I was closing the door to his room when I heard ‘I love you’ back for the very first time. I’ll never forget it. I cried for an hour.”

*Ashley B.*

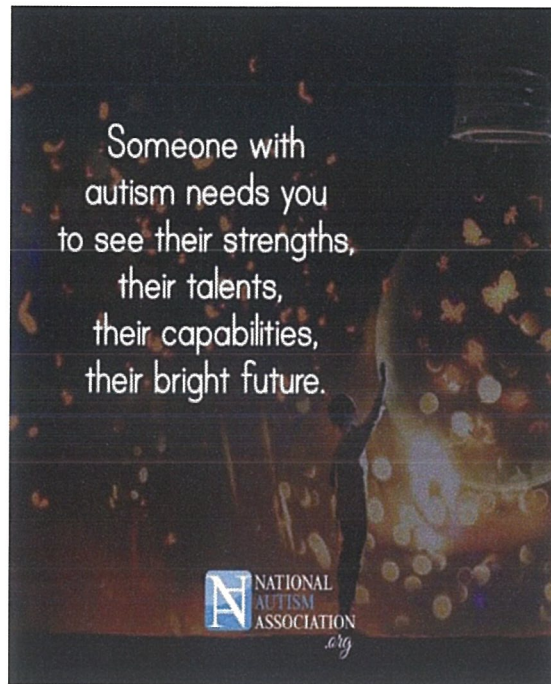






 National Autism Association  
Speak with kindness...





 National Autism Association  
See it. ♥



地域連携シンポジウム その1

障がい者の意向をくみ取った地域の支援活動を考える

---

令和2年11月11日 発行

発行者 NPO 法人成年後見センターかけはし

〒242-0022 神奈川県大和市柳橋2丁目1-26 102号

TEL 046 (244) 5551 FAX 046 (244) 5534

URL <http://www.kakehashi-tomoni.org/>

MAIL [info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp](mailto:info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp)

---

発行所 大塚印刷株式会社

〒242-0028 神奈川県大和市桜森2-14-2

TEL 046 (263) 3838

\*\*\*\*\*

この冊子は、令和2年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成(WAM助成)の助成金により作成しました。